がんばろう！東北

記者発表

平成２３年１０月３日
東 北 地 方 整 備 局
北 海 道 開 発 局

北海道開発局からの「広域防災フロート」が母港へ帰還します

１０月５日（水）午後 4:00　相馬港出港

東日本大震災による被災地へ緊急支援物資を支援するため、国土交通省北海道開発局は広域防災フロートを派遣し、大船渡港（岩手県）及び相馬港（福島県）へ、燃料や生活物資といった緊急支援物資を運びました。

運搬後も、利用可能な岸壁が少なかった相馬港に常駐し、広域防災フロートを作業船の係留施設として活用してきました。

今般、相馬港の復旧作業により利用できる岸壁が増えたことから、来る 10 月５日、母港である室蘭港（北海道）へ帰還することとなりました。

【参考１】広域防災フロートの活動経緯

（１）３月 22 日　室蘭港出港。
（２）３月 24 日　大船渡港入港。緊急支援物資を荷揚げ。
（３）３月 29 日　相馬港入港。緊急支援物資を荷揚げ。
（４）その後、相馬港に常駐。岸壁として活用。
（５）10 月５日午後 4:00 相馬港発、同月８日午前 10:00 室蘭港着予定。

【参考２】広域防災フロートが果たした役割

（１）緊急支援物資の運搬：ドラム缶で灯油 600 本、軽油 110 本、A 重油 100 本。また、４ﾄﾝﾄラック換算で８台分の生活物資一式を運搬し、３県８市町に提供を行った（自衛隊と連携）。
（２）航路啓開作業で用いた起重機船等の係留施設としても活用。
（３）広域防災フロートの活動状況は別紙参照。

【取材】

（１）出港当日（10 月５日）、午後 3:00 から二号埠頭において取材対応を行います。
（２）なお、相馬港の出港日は、気象海象の影響により延期する場合があります。

＜発表記者会＞福島県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　港湾空港部　海洋環境・技術課
課長：千葉秀樹（ちばひでき）、課長補佐：安井哲博（やすいてつひろ）
電話：022-716-0004、FAX：022-716-0017
国土交通省　北海道開発局　港湾建設課
課長補佐：根本任宏（ねもとたかひろ）、係長：佐々木洋介（ささきようすけ）
電話：011-700-6769、FAX：011-709-2147

（　別　紙　）

１．大船渡港（３月 24 日）



防災フロートが大船渡港に着岸



広域防災フロートからトラックへ積替



防災フロートからドラム缶を荷揚げ

２．相馬港（３月２９日）



緊急支援物資を積み相馬港へ入港



広域防災フロートから支援物資を荷揚げ

３．岸壁の代用として活用（相馬港）







（了）